

オープン市場短信 (2019年10月)

2019.10.7

◆ 9月のCP市場動向

9月末のCP市場残高は、17兆5,557億円と一時的な期末要因で前月比大幅に減少(△3兆7,857億円)したが、前年同月比では31カ月連続して増加しており、引き続き事業法人はCP活用に積極的である。業態別残高では、一般事業法人は5兆2,956億円(前月比△3兆8,863億円)、その他金融は9兆3,330億円(同△5,553億円)と減少した。一方、金融機関は1兆6,060億円(同+4,940億円)、ABC Pは1兆3,211億円(同+1,619億円)と増加した。発行レートは、投資家やディーラーの強い購入ニーズから、やや深いマイナスでの出会いも散見され、マイナス~0%近辺の出会いであった。

【新発3M物の発行レート】

最上位銘柄(a-1+格) 0.000%割れ~0% 一般事業法人(a-1格) 0.000%割れ~0.0011% その他金融銘柄(a-1格) 0.000%割れ~0.023%

【業態別残高内訳】

(単位:億円)

業 態	9月末残高	8月末残高	増 減
一般事業法人	52,956	91,819	-38,863
その他金融	93,330	98,883	-5,553
金融機関	16,060	11,120	4,940
政府系金融	0	0	0
銀行等	2,640	2,690	-50
証券	13,420	8,430	4,990
ABC P	13,211	11,592	1,619
計	175,557	213,414	-37,857

(注:買入消却分含む)

【格付け別の発行レート】

9月のCPレートレンジ

格 付	1カ月	2カ月	3カ月
a-1+ (一般事業法人)	— ~ —	△ ~ 0.0000%	△ ~ 0.0000%
a-1 (一般事業法人)	△ ~ 0.0010%	△ ~ 0.0000%	△ ~ 0.0011%
a-1+ (リース銘柄)	△ ~ —	△ ~ △	△ ~ —
a-1 (リース銘柄)	0.0000% ~ —	△ ~ 0.0000%	△ ~ 0.0230%
a-2	0.0010% ~ ケ0.15%	0.0000% ~ ケ0.15%	0.0400% ~ ケ0.15%

「C P オペ」

C P等買入オペは、オファー額が月間で合計1兆2,000億円と前月比+6,500億円増加した。按分落札レートは、オファー額の増加により前月(各回△0.001%)に比べ低下した(オファー日:5日△0.006%、11日△0.009%)。25日のオペは、10月中のオペが減額予定であることやディーラーの売却ニーズも強まり、△0.005%と上昇した。

〈月末オペ残高:2兆1,917億円〉

(単位:億円)

実施日	実行日	オファー金額	応札額	落札額	按分・全取	平均落札	按分比率
9月5日	9月10日	4,000	6,368	3,993	-0.006%	-0.003%	31.1%
9月11日	9月17日	4,000	7,550	3,988	-0.009%	-0.006%	58.0%
9月25日	9月30日	4,000	8,020	3,985	-0.005%	-0.001%	58.9%

「A B C P」

A B C Pは、1兆3,211億円と前月比+1,619億円増加したが、前年同月比では△836億円の減少であった。

「短期社債登録状況」

証券保管振替機構によると、9月末時点における発行登録企業数は1社増の528社となった。

(新規登録2社)メルセデス・ベンツ・ファイナンス、ソフトバンク

(登録抹消1社)セントディラファンディング

「C P 現先市場」

現先(S/N)レートは運用ニーズ強く、マイナス~0%近辺での出合いで0%では引き続き買い残り状態となっていた。

◆ 10月のC P市場動向

10月のC P発行市場は、四半期末で残高調整をした企業(商社・鉄鋼・石油等)が発行を再開し、期落ち(約2兆2,000億円)を大きく上回る発行となるだろう。発行残高が、3日時点で既に18.6兆円台に回復していることなどを勘案すると、月末残高は前年(18兆2,544億円)を上回り21兆円台半ばを予想する。

発行レートは、先月が期末要因で一部深いマイナスレートでの出会いも散見されたが、今月は発行増に伴い上昇し0%前後での出会いが中心になると思われる。

«CPオペ»

今月のCP等買入オペは11日と28日の2回のオファー予定で、オファー額は各2,500億円程度となり、前月から7,000億円の減少である。そのため、レート上昇が予想される。

«CP現先市場»

CP現先レートは、投資家の運用ニーズが強く、引き続き0%近辺での出会いを予想する。

* 参考資料 (出所：証券保管振替機構)

【9月末発行残高 上位10社】

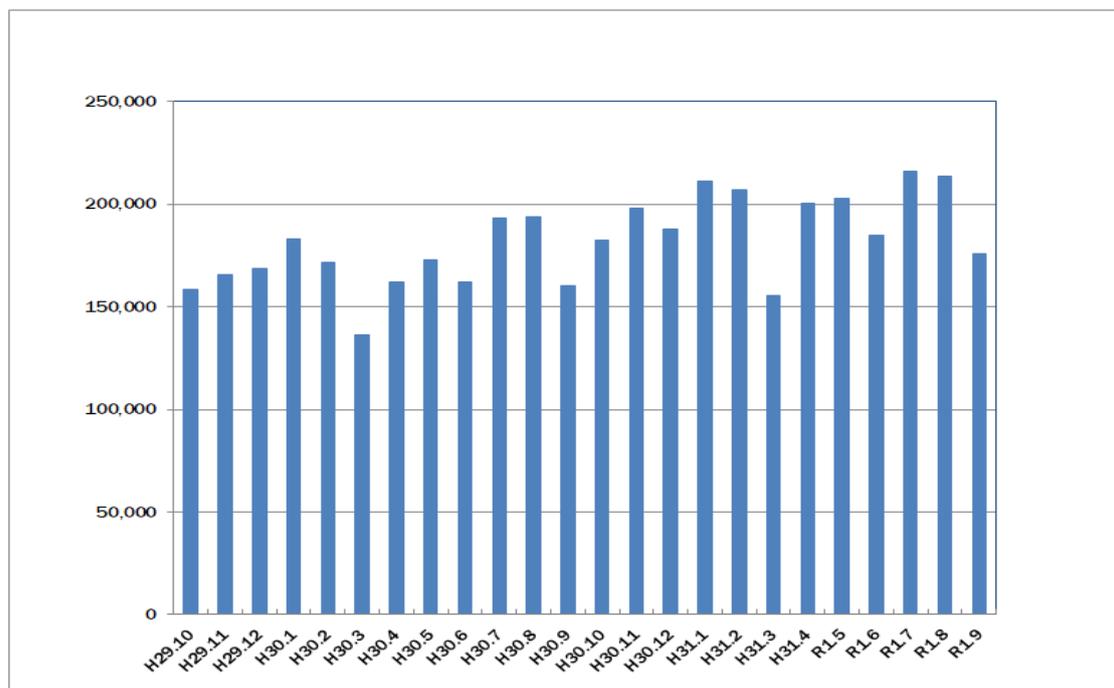
(単位：億円)

	発行企業名	9月末残高	8月末残高
1	三井住友ファイナンス&リース株式会社	9,559	9,559
2	三菱UFJリース株式会社	7,371	7,591
3	NTTファイナンス株式会社	6,400	9,230
4	株式会社クレディセゾン	5,880	5,870
5	東京センチュリー株式会社	5,800	7,430
6	興銀リース株式会社	5,500	5,500
7	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	5,069	4,547
8	芙蓉総合リース株式会社	4,447	4,747
9	ジャックス	4,075	4,105
10	JA三井リース	3,690	3,920

【短期社債市場残高】

(2017年10月～2019年9月)

(単位：億円)



本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

大阪本社 〒 541-0043 大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号

東京本社 〒 103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号

加入協会 日本証券業協会